

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和元年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会
2 開催日時	令和元年9月27日(金) 午後1時30分から 午後2時30分まで
3 開催場所	市役所3階 301会議室
4 会議の概要	1. 委員の自己紹介 2. 副会長選任 3. 案件 ① 本年の河内長野市犯罪発生状況について ② 第14回安全・安心まちづくり市民大会について ③ その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 危機管理課 (内線 774)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和元年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会 議事録

日 時 令和元年9月27日(金)

午後1時30分から午後2時30分

場 所 河内長野市役所3階 301会議室

1. ～2. 開会・市長挨拶

皆様には、平素より安全・安心なまちづくりの為に尽力賜っていますことに心より御礼申し上げます。本市の犯罪発生率について、平成25年が33市の中で最も少ない1位、平成26年が2位、平成27年が1位、平成28年が3位、平成29年が1位、平成30年が2位であり、大阪府内33市において過去5年間の犯罪認知件数が最も少なく、大阪府内33市の中で、最も安全・安心の市となりました。

これに関しては、子育て世代を呼ぶ非常にいい方向の話だと思っております。勿論教育とかいろんなところで、子育て世代というのは関心事あると思うのですが、利便性も含め安全安心なまちで子育てをしたいということも含めて、全面に出していきたいと思っております。これもひとえに警察を始め、地域で自主的な防犯活動を展開されている皆様の取り組みの賜物と心から感謝申し上げますとともに、今後とも安全・安心なまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、本協議会が11月24日に開催する『安全・安心まちづくり市民大会』は特殊詐欺をテーマに現在、関係団体の皆様のご協力のもと準備をすすめております。この後の会議案件では『安全安心まちづくり市民大会』の開催内容についてご説明いたしますので、最後まで宜しくようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

3. 委員の紹介

行政機関の人事異動などに伴い、初めて出席する委員がおられるため、出席者全員の自己紹介を行った。

4. 副会長選任

委員互選により、刀祢委員(河内長野警察署長)が副会長に選任された。

5. 案 件

①本年の河内長野市犯罪発生状況について(河内長野警察署生活安全課 松倉課長)

まず大阪府下の犯罪状況について、本年8月末の全刑法犯認知件数は56,684件で、昨年比8,264件の減少し、減少率はマイナス14.6%です。犯罪は減少傾向ですが、その中で公然わいせつや特殊詐欺が増加傾向となっています。特に特殊詐欺につきましては危機的な状況で、8月の末で認知件数が1,209件で、昨年比プラス257件、被害金額で約17億8000万円、昨年比マイナス約4億9000万円となっております。被害金額は減少していますが、これにつきましては犯人グループの手口が変化しておりまして、個々の被害額は減ったものの被害者数が増加しているという状況です。

特殊詐欺の主な手口は、オレオレ詐欺・架空請求詐欺・融資保証金詐欺・還付金詐欺などがありますが、このうちオレオレ詐欺に密接に関係して、キャッシュカードをすりかえる手口が増加してきております。この手口についてご説明いたします。

アポ電、犯人役が電話をかける、それが高齢者宅に警察官などを騙って電話をかけて、あなたのカードが偽造された可能性があるなどと、相手を信用させて、そこに待機していた受け子を派遣する。受け子はいろいろ小道具を持っています。封筒をいっぱい持って被害者宅に行きまして、アポ電のかけ役から指示されて、キャッシュカードとか暗証番号を書いた紙などを用意させられた被害者に、封筒の中にカードとか暗証番号書いた紙などを入れてください、目の前で封印しますと言って、封筒に入れさせた後で、すぐに銀行印持って来て下さいと言います。銀行印を取りに行った際に、事前に準備していたポイントカードを入れた封筒とすり替え、被害者が戻ってきた時に、ここにのりで貼って封印して下さい。封印した後、これは大事に持って置いて下さいねと、保管を指示するということです。犯人はすぐその場から退散し、近くのコンビニなどでお金を引き落とししますが、被害者は気付かずにその封筒を開けて、初めて騙された事に気付くということで、認知が遅れてそのまま騙されてお金を取られてしまうという手口です。

こういった事案は、今までは統計では特殊詐欺には入ってなかったのですが、今年の7月から入れるようになった。特殊詐欺の区分で、落としたり騙したりという手口を特殊詐欺の恐喝の手口に、キャッシュカードすり替えて騙しとるという手口を特殊詐欺の窃盗ということで分けまして、それらを含めて特殊詐欺ということで計上しております。

内訳は、特殊詐欺の詐欺と恐喝は、1月から8月で977件プラス102件、キャッシュカードすり替える手口は232件、去年から比べてプラス155件増加ということで、犯人の手口が非常に巧妙になっているところです。

続いて、河内長野市で発生状況を説明させていただきます。8月末の全刑法認知件数は274件、前年比で61件のマイナス約18%ということで、非常に犯罪の少ない状況です。その中で、重点犯罪の自動車関連犯罪の部品狙いがプラス3件、自動車盗がプラス1件となっております。部品狙いについては、今年の6月にタイヤを盗まれる被害が6件発生しております。朝、車を止めている駐車場へ行くと、タイヤが4本無いというような犯罪でした。7月には周辺署と合同でプロジェクトを組んで犯人を検挙し、その後の発生はありません。また、性犯罪について、強制わいせつで計上していますが、公然わいせつがプラス1件ということで、9月には入りまして千代田地区で発生がみられております。現在防犯カメラで犯

人の割り出しに懸命に捜査しているところです。

特殊詐欺につきましては、大阪府下と同じように多発傾向にあります。8月末の発生状況ですが、認知件数は13件、手口別では、オレオレ詐欺が5件、架空請求詐欺が3件、融資保証金詐欺1件、カードすり替えの窃盗が4件で合計13件。被害金額が約2000万円となっております。被害額こそ減少していますが、件数は昨年比7件プラスとなっております。河内長野警察署では、被害者のところにカードとりに行った受け子の犯人を本年中に3名逮捕しております。ただ、アポ電という詐欺の未遂の事案につきましては、高齢者宅に頻繁にかかってきております。毎日発生するわけではありませんが、一度発生すると、警察が認知するだけで20件ぐらい連続して、こんな電話があったという連絡をいただきます。警察も体制を組んで捜し回って犯人を捕まえた、ということが検挙につながっていますが、犯人からは常にアポ電が入ってきておりますので、いつまた被害にあうかもわからないということで警戒を強めているところでございます。最近では大阪の北摂方面で還付金詐欺が多発しておりまして、河内長野でも先日還付金詐欺のアポ電がかかってきておりますので警戒を強化しておるところでございます。

ご説明させていただいた様に、河内長野市は他市と比べて犯罪の発生率が低いですが、特殊詐欺等の犯罪が多発傾向にある部分もあります。

生活安全推進協議会の皆さまのお力をお借りして、今後も諸対策を継続していくことで、安全・安心な河内長野が確立できると思っております。今後とも河内長野市の安全・安心まちづくりのために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

→ 質疑応答

(委員) 資料には具体的に掲げていない犯罪の種類には、どういったものがありますか？

(松倉課長) その他の身体犯と言って、傷害事件とか暴行事件とかもありますし、自宅に人が入ってくる建造物侵入、ここに侵入窃盗の一般住宅と書いてありますが、事務所とかお店に入られたとか、そういった事案もございまして。あと自転車のまた取り、そこで拾って勝手に乗っていたという事案もあります。

(委員) 河内長野に薬物犯罪はありますか？

(松倉課長) 河内長野でも覚せい剤とかそういった事案発生しておりまして、検挙はしております。

②第14回安全・安心まちづくり市民大会について (事務局)

- ・開催日時 令和元年11月24日(日) 午前10時～12時
- ・場所 市民交流センター(キックス)4階イベントホール
- ・主催 河内長野市生活安全推進協議会

- ・テーマ みんなで防ごう特殊詐欺
- ・内容 防犯教室「特殊詐欺の手口について」(大阪府警本部)
基調講演「特殊詐欺の被害に遭わないために」(大阪府警本部)

→ 質疑応答

(委員) 例年、会場で来賓の方は赤バラのリボン、主催者側は白バラのリボンを付けることになっているが、主催者側の白バラはやめてはどうでしょうか？

(市長) バラの一つの役割としては、誰が主催者側か区別しやすいという意味があるのかなと思いますが、皆様のご意見お伺いしたいと思います。事務局の見解はどうでしょうか？

(事務局) 審議会等の委員さんを選任するにあたって、一つの委員を10年以上続けていただくことなく、新たな世代の方という方針もあって、ここに来ていただいている委員の皆様の中には、それぞれ団体の会長の方もおられますし、会長ではなくてもここへ来ていただいている方もおられます。ですから、大会当日、当委員会の委員さんは一般席に座っておられて、会長さんがバラを付けておられるという状況もございます。その当日、代表者さんがわかりやすい様にとという意味もあってバラを付けさせていただいていますので、そのまま付けさせていただいた方がいいのかなと事務局の方では考えております。

(市長) 区別というか、認識する為に、来てくださっている人が会長でない場合もあるみたいなので、当日粗相があっては、案内の際に別のところに案内してしまうとか失礼が無い様にとという意味も含めまして、どの方が会長で構成団体の関係者か認識できる様にと考えています。事務局及び私の意見も含めてですが、とりあえず、今年は、白バラは従来どおりでやらせていただくという事でお願いします。

③その他 本日の議題及び生活安全に関する全般的な意見・質問について

(委員) 安全安心のまちづくりが協議会のテーマですよね。防災のイベントでも、防犯や福祉など他分野の団体さんに協力をいただいています。河内長野市は刑法犯が少ないということですが、防災でも防犯でも、日常的に備えていくことが大事だと思っていますので、今後とも河内長野の団体がお互いに意識を持って、他分野の団体の皆様にも防災に関心をもっていただいて、河内長野をより安全安心なまちにしていけないと思います。

(市長) ありがとうございます。防災意識をこの構成団体中心に意識を持っておきましょう。

(委員) 特殊詐欺について、知人がキャッシュカード使われている、ということで電話がかかってきました。ただ、その人の場合は、自分のところは使っていないカードだったので、すぐにばれて警察に連絡したらしんですけど、たまたま今日朝ニュース見ていたら電話機の横で「電話、気を付けて。詐欺かもしれませんよ。」とおしゃべりをする人形ですごく減った、と言う市の話をしていましたので、河内長野市は録音機を貸し出すようなことやおられますか。それは直接先に市の方へ？警察の方へ？

(事務局) 平成29年度に200台を購入し無料貸し出しを行っています。平成30年に20台。今年はずでに100台購入しております。貸し出したところが本当に犯罪にあっていないのかというと、被害の報告がないため、相当効果はあると考えています。申込みには、住民票が必要なくらいですので、危機管理課へおこし下さいということで、どんどんPRしていただきたいと思っています。今回、河内長野ガスさんからも、協定の中で30台寄付をしていただくということになっています。その分は工場生産が迫りついておらず、まだ入っていない状況ですが、河内長野市はどんどん購入しておりますので、皆様にも宣伝していただけたらと思います。よろしくお願ひします。

以上